

津波警報等の改善 (概要)

(平成25年3月運用開始予定)

○地震規模推定の過小評価回避

津波警報第1報を公表する前に地震の規模の妥当性を判定し、過小評価しているおそれがある場合には、当該海域で想定される最大マグニチュード等を適用して津波警報第1報を公表します。

○津波警報等の分類、予想高さの表現等

| 現在 | | |
|-------|-----|-------------------|
| 予報の種類 | | 発表される津波の高さ |
| 津波警報 | 大津波 | 3m,4m,6m,8m,10m以上 |
| | 津波 | 1m, 2m |
| 津波注意報 | | 0.5m |

- 現在の「津波警報(大津波)」を「大津波警報」とします。
- 津波の高さの予想区分を現在の8段階から5段階にします。
- 予測される津波の高さを情報として発表する際には、発表基準のうち大きい値を用います。ただし、地震規模の推定に不確定性が大きい場合には、通常地震とは異なる非常事態であることを伝えるため、定性的な表現「巨大」、「高い」を用います。
- 警報、注意報の発表基準等は下表のとおり。

| 変更後 | | | | |
|-----------|---------|---------------|-------|--|
| 警報・注意報の分類 | 発表基準 | 予想される津波の高さの表現 | | 想定される被害 |
| | | 数値による表現 | 定性的表現 | |
| 大津波警報 | 10m～ | 10m超 | 巨大 | 巨大な津波が襲い、甚大な被害が発生する。木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| | 5m～10m | 10m | | |
| | 3m～5m | 5m | | |
| 津波警報 | 1m～3m | 3m | 高い | 標高の低いところでは津波が襲い、被害が発生する。浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる。 |
| 津波注意報 | 20cm～1m | 1m | (なし) | 海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流出し小型漁船が転覆する。 |